

## 「陰謀論」というミームが「COVID-19 作戦」を隠蔽する のに使われている

### 【Greatchain】

「陰謀論」という言葉のキャラクリは、陰謀を企む者が注意をそらすために、陰謀を指摘する者を、逆に「陰謀論者」と言って馬鹿にし、それによって世論を誘導することにある。これは「フェイク・ニュース」と同じで、これも、真実（この場合ペド-ゲイト）が暴かれそうになったとき、大慌てでつくり出された言葉で、これがメディアに初めて出てきたとき、ある女性キャスターが「なぜそんなウソをつくのでしょう？」と真顔で言った。その通り、ウソのニュースをねつ造しなければならない理由は、どこにもない——そのウソつき以外には。

これは、わかり易く言えば、スリを働こうとする者たちが共謀して、悪事を見つかった瞬間に、大声で「スリだ！」と叫ぶようなものである。この場合、ほとんど成功するだろう。実はこれは、アメリカの常套作戦で、「ニセ旗作戦」と言われるものがすべてこれである。

この記事は多くの人にショックを与えるだろう。主流メディアというものは、すべて陰謀で、陰謀というあり方でしか存在したことがない、と言っている。我が国では、大多数がいまだに、そうは考えず、メデイは常識を教えるもので、せいぜい、昔の言葉でいえば、「偏向報道」ではないか、などと考えている。そんなものから、いかに程遠いものであるかを、これは教えている。

CIA というものがどういうものであるか、メディアが、いかに良心を麻痺させ、犯罪者として CIA と付き合っているかが、度々引用したこの外国の例からもわかるだろう。

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/170807.pdf>

State of the Nation (SOTN)

May 27, 2020

CIA が「陰謀論」 Conspiracy Theory というミーム (meme、意図をもって流行らせる言葉) をつくり出し、「COVID-1984 時代」(1984 はジョージ・オーウェルの小説の題) を予想して、真相運動を締め出そうとしている。

## The Term “Conspiracy Theory” — an Invention of the CIA



「陰謀論」という言葉は CIA の考え出したものである

実を言えば、すべてが陰謀だということである——すべてが！！

ニューヨーク・タイムズ、ワシントン・ポスト、あるいは CNN、また MSNBC のトップ面で、陰謀でないものを見つけるのは難しい。

9・11 という、国家スポンサーによる、ニセ旗テロ攻撃が、かつて最大の陰謀であっただけでなく——なぜなら犯人は決して捕まらず、起訴も、投獄もされていない——この同じ犯行者が、**COVID-19 作戦**をやった張本人である。

それが非常に**誠実な**陰謀だった、とはどういうことか？ ここで手早く**真実**のチェックをしておこう。

**COVID-19 作戦**とは——：国家スポンサーによるグローバルな 9・11、一連のニセ旗・バイオテロ攻撃、多面的な人為大量死事件、フェイク・パンデミックとして計画され、ヤラセのパニックとして、全体主義的「一世界政府」を確立するために、きわめて発達させられた New World Order による陰謀である。

作戦 COVID-19 についての上記の物語は、無数の調査ジャーナリスト、医療研究者、研究分析家にとって、日ごとに、ますます明らかになっていく。

当然のことながら、この世界的な Gladio ブラック作戦が、あまりにも**透明**になってきたので、これまで眠っていた各方面の人々が、いま大きく目覚めつつある。

<http://themillenniumreport.com/?s=gladio>

**作戦 Gladio** は、NATO（しばしば *North Atlantic Terrorist Organization* と呼ばれる）のテロリスト専門部である。

これほど多くの明らかな犯罪と、前代未聞の不正事件として、このフェイク・パンデミックの間に起こったことを、「陰謀論」と呼ぶことは、馬鹿げていて、子供じみている。それは誰もが知っている。この滑稽な、NWO のグローバリスト物語を推進するために、たっぷり支払われている人々でさえ、それを知っている。

そこで、誰でもこの「陰謀論」ミームに応えようとする人々は、反論できない真実をもって、これに応えていただきたい。

**すべてが陰謀である。**

**陰謀でないものは實際上、存在しない。**

気味悪い現実として、いま進行中の「作戦 COVID-19」は、もしグローバリストがうまくやるなら、始まったばかりだということだ。現実問題として、「作戦 COVID-19」は、「**COVID-1984**」として知られた遥かにより大きな陰謀のために、道を開いている。

まず、ここで真剣なリアリティ・チェックを行う。

主流メディア（MSM）によって報告される

ほとんどあらゆるものは、高度に組織された陰謀の結果である。

（注：以下の、詩のように区切って書かれた文章は、特別の効果をもっている。）

一歩先へ進むとしよう。

あなたが CIA のモッキング・バードから、

読んだり聞いたりしていることのすべては、

熟慮され、よく計画された陰謀から生まれたものだ。

言い換えると、すべての企業メディア・ニュースは、

NWO グローバリスト、「深層国家」、国際銀行カルテル、

300 人委員会、その他、いくつかの組織化された

犯罪シンジケート、あるいは秘密結社によって、

つくり出され、運営されてきた、

さまざまな陰謀の焼き直しにすぎない。

別の言い方をすれば、2020年に起こっているすべて、  
伝統的なメディアで報道されている、すべてのものは、  
細心に工作された何らかの陰謀の  
影にすぎない。

しかもこの、より不気味な現実がある。  
大多数の、MSMで報道される陰謀は、実は  
複雑な、犯罪的な、陰謀物語である。  
これが意味すること——それは、  
主たる企業メディアのすべてが、  
それぞれ、すべてが、犯罪的な馬鹿騒ぎをする  
共犯者だということだ。

それぞれが絡まり合った犯罪的陰謀は、  
ますます幅が広がり、前よりもっと複雑で、  
インパクトをもつようになるために、  
あらゆる形のメディアが糾合されて、  
癒着と隠蔽を実行するようになる。

多くの「代替メディア」紙面でさえ、現在では  
モッキングバード・プロジェクトの  
規定に基づいて作業している。  
これらのニュースサイトのいくつかは、  
それとは知らずに、それをやっている。  
またあるものは、カネをもらって服従する  
野党、あるいは他の、密かに吸収された者たちだ。

ここで最低限いえること、それは  
主流メディアが、あらゆる国際犯罪の波の中で  
鍵的な役を演じていることだ。彼らは、ただ、  
隠ぺいを維持するのに重要なのではない  
——それは1000単位で存在する——  
あらゆるプロパガンダと、言葉のごまかしのMSM組織が、  
犯罪活動委員会のような、共犯者なのだ。

犯罪者どもが、

こうした数世紀に及ぶ犯罪的陰謀を  
ごまかして、やりすごしてきた、主たる手段の一つは、  
「陰謀論」という張札を、まき散らすことだった。

「タヴィストック研究所」が、(Tavistock Institute: 科学的に人間関係を研究すると称する機関)  
CIA が JFK を暗殺した後、ひとたび、  
このちょっとしたミームを The Company (情報局集団) に送ると、  
彼らは再び、隠べいを取り締まるのに  
苦労する必要がなくなった。アメリカの民衆は、  
真実を求めるすべての者たちを  
「陰謀論者」と嘲ることによって、  
それをすっかり、自分でやってくれた。

ところで、急いで「作戦 COVID-19」に進もう。  
犯罪者どもは再び、いたるところで  
市民にマスクをかけさせ、社会的距離をとらせ、  
屋内に閉じ込めた。この同じ恐ろしい者たちは、  
ワクチンを要求さえしている。それが決して効かず、  
毒性があり、有害という事実にもかかわらず。

こういうことがあるので、  
「真実運動」を絶やしてはいけないのだ。  
真実を明らかにする、あるいは間違いを正す  
すべての運動をする者は、嘲られ、  
「すず箔の帽子をかぶる者」(陰謀論者)として馬鹿にされる  
——愛国者たちがあらゆるところで立ち上がり、  
棒を振るって板を叩き、  
明日はないことを、はっきり知らせない限り。

——以上、数頁略